

月刊

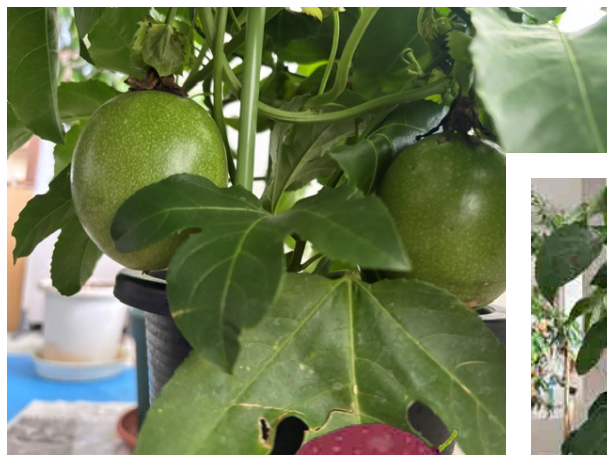


とぴあす vol.113

毎月第3木曜日発行
令和8年8月20日

特集

「かがくのへや」開催を振り返って



センター 今月の1枚



センターに、パッションフルーツの木が新しく仲間入りしました。まだ実は可愛らしい濃い緑色ですが、これから表面にしわが現れ、赤紫色へと色づく頃が食べ頃だそうです。パッションフルーツは、美肌づくりに欠かせないビタミンCを豊富に含むスーパーフード。窓辺で少しずつ成長する姿は、見ていだけで心が癒やされます。センターへお越しの際は、ぜひ窓辺にも目を向けてみてください。実の成長や色の変化を、みなさまと一緒に楽しめたらうれしいです。

山形市市民活動支援センター
スタッフブログ
更新中！



今号の内容

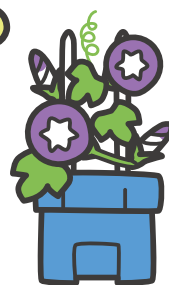
● 特集： 「かがくのへや」開催を振り返って

● イベント・講座情報「んーぽ新聞」

センターや、市民活動・NPO団体が開催するイベント情報をお届けします！

● とぴあす連載コーナー

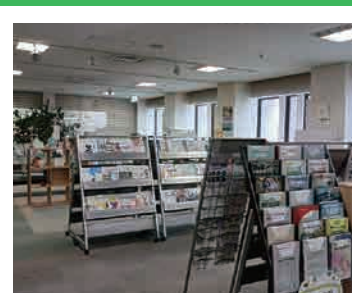
- ・市民活動ひとくちコラム「日本語学習支援の会」
- ・センター職員のいちおし！ vol.95



山形市市民活動支援センターとは

様々な分野の市民活動やNPO、ボランティアなど、公益的な活動をしている人、はじめたい人たちを応援する施設です。

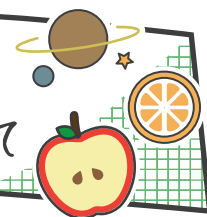
NPO・市民活動に関する各種相談の他、山形市を中心に活動する非営利活動団体を対象に、会議室、印刷コーナー等を提供しています。
利用対象や利用方法の詳細については当センターまでお問い合わせください。





親子向け科学イベント

かがくのへや 開催を振り返って



センターでは、学生スタッフによる親子向け科学講座「かがくのへや」を開催しています。大変好評いただいている当講座ですが、この度、学生スタッフの卒業を節目として、今回の開催をもって一区切りを迎えることとなりました。今号のとびあすでは、7月に開催した「かがくのへや」の様子にあわせて、担当スタッフから届いたメッセージをお届けします。

★ ★ 7/19 開催 テーマは「宇宙」 ★ ★

宇宙の歴史や月についての講義の後、宇宙にちなんだ工作実験を行いました。内容は、惑星への着陸に見立てた「落ちる生卵を割らずに守る装置」です。渡された紙を使って、子ども達自ら仕組みを考え装置を作成します。完成後は実際に落下実験を行い、どのような工夫が衝撃を和らげたか考察を行いました。

「かがくのへや」担当スタッフからのメッセージ

昨年度7月から親子向け科学講座「かがくのへや」の講師を務めさせていただきました、水野谷です。先日開催した第3回をもちまして、「かがくのへや」を一区切りとさせていただきます。

講座での思い出は、なんといっても参加者のリアクションです。サンプルを見せると目が輝いたり、実験中に「わあ!」と声があがったりするような、そんな瞬間が最高でした。

一方で、「どこまでの内容をどう伝えるか」を考えることには苦勞しました。これならいける!と思い講座に臨んでも、子どもたちの反応から、あまり伝わっていないな…と感じることもありました。年齢や知識量に関係なく、楽しく学んでもらう方法の模索が、私の中での課題です。

少ない開催でしたが、興味をもって来てくださったお子さん、保護者の皆様、本当にありがとうございました。少しでも、科学の楽しさというものを持って帰っていただけたら嬉しいです。センターでの講座は一区切りですが、科学の魅力を伝える活動をセンターの外でも続けていけたらと思います。

水野谷ことはさん

これまでの「かがくのへや」では、身近な自然や生きもの、顕微鏡の世界、宇宙などをテーマに、子どもたちが科学を身近に感じられるような体験型のイベントを企画・運営してきました。学校の授業ではなかなか触れる機会の少ない内容を取り上げたり、ただ知識を伝えるだけではなく、子どもたち自身が考えて試行錯誤したりする実験も行いました。子どもたちの自由な発想からは、私自身も多くの驚きや学びを得ることができました。

またイベントでは、大学で学んでいることや研究活動について紹介する機会もありました。専門的な内容でも、実物を見たり体験したりすることで、工夫次第で子どもたちが興味を持ち、楽しみながら学んでくれることを実感しました。

この活動を通して、参加してくれた子どもたちが科学に興味を持つきっかけになっていけば、とても嬉しいです。

小川泰輝さん

☆☆ 講座の企画運営、おつかれさまでした! ☆☆☆

はじまりの様子

一番最初の開催テーマは

「わたしが木になる植物の不思議、わたしが気になる数の不思議」

センターの周知を目的として、当時の学生スタッフが「サイエンスカフェ」として企画し、令和4年度に第1回目が開催されました。スタッフそれぞれが専門に学んでいることをテーマに開催し、ブラッシュアップを重ねながらたくさんの方に科学の楽しさをお届けしました。

これまでに培った技術や経験を社会に役立てたい気持ちも市民活動の第一歩です。こんなことがしてみたい!という取り組みがあれば、ぜひセンターにご相談ください。

登録団体からのお知らせ

イベント・講座情報

んーぽ新聞

センターの講座や、センターに登録している市民活動団体の活動など、市民活動・NPO・ボランティア情報をお届けします！



最新情報はセンターウェブサイトをチェック!!

センターからのお知らせ

ふらっとカフェ～思い込みと偏見～

ふらっとカフェは、身近なテーマに関して思っていることなどを自由に話し合う場所です。今回のテーマは「思い込みと偏見」。人は経験や知識をもとに物事を見て、さまざまな判断を下しています。しかし、その判断は自分でも気づかない思い込みに左右されていることが、案外多いかもしれません。

- 日時 2026年9月9日（水）
14:00～16:00
- 場所 山形市市民活動支援センター ふらっと
（霞城セントラル22階）
- 申込 二次受付枠：6名 9/1（火）受付開始



組織化のススメ！

ふらっとNPO教室～特別編～

社会課題を解決しようと思ったとき、個人の活動ではできることの範囲に限られます。NPOの組織化は支援を必要としている人に、「より確実に」「より長く」「より大きな助けを届ける」ために必要なプロセスです。まず手始めに任意団体を組織することについて考えてみましょうか？※要事前申込

- 日時 2026年9月26日（土）18:30～20:00
- 場所 山形市市民活動支援センター 会議室B
（霞城セントラル22階）
- 定員 5名程度
- 申込締切 9月24日（木）
※9/21～24は休館日のため
申込みはフォームのみとなります。



センター主催の講座・イベント情報の詳細はこちらからご覧いただけます



登録団体からのお知らせ

最上川フォーラムInstagram投稿キャンペーン実施中！

美しい山形・最上川フォーラムは今年25周年を迎えました。これを記念しInstagram投稿キャンペーンを実施しています。みんなにおススメしたい！知って欲しい！最上川をはじめとする山形県内の川や桜、湧水、またこれらにまつわるものやこと（景観・文化・行事・食等）の投稿を募集します！ご自身が参加したフォーラムの活動なども大歓迎！応募者には抽選で10名様にオリジナルQ.U.Oカード3000円分をプレゼント。

- 応募期間 2026年11月13日（金）まで
※過去の写真でもOK

●連絡先／美しい山形・最上川フォーラム
TEL 023-666-3737
✉ info@mogamigawa.gr.jp

デコ活（脱炭素実践活動）事例収集・発信事業
エコカップやまがた2026
～カーボンニュートラルやまがたを目指して～

「デコ活」とは、2050年カーボンニュートラル及び2030年度削減目標の実現に向け、2022年10月に発足した国民の皆様の行動変容・ライフスタイル転換を強力に後押しするための国民運動です。「エコカップやまがた2026」では山形県内各地域の脱炭素に係る実践活動事例（取り組み）を募集します。

- 報告締切 2026年9月4日（金）
- 収集対象 山形県内でデコ活（脱炭素実践活動）の取り組みを実践している団体、企業、学校、行政機関等で、その取り組みが他へ波及・実践することが期待できるものとし、継続性の見込める取り組み。
- 報告方法 報告用紙に団体情報や活動規模、期間、事業効果（CO2削減量などの実績や数値で示せる内容等）をご記入の上、提出先に提出してください。

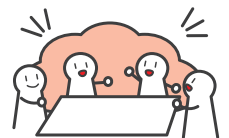
●連絡先／NPO法人 環境ネットやまがた
TEL 023-679-3340
FAX 023-679-3389
✉ ecocup@eny.jp

国際ブリーフセラピー協会
第18回学術会議 山形大会

本大会は「ブリーフセラピーの“これまで”と“これから”～A Iと共生する心理社会的支援はいかにして可能か？～」をテーマにさまざまなプログラム、WSを通じて、ブリーフセラピーのこれまでとこれからについて皆様と一緒に考えていけたらと思っています。

- 日時 2026年9月19日（土）～9月20日（日）
- 場所 山形大学 小白川キャンパス
基盤教育2号館および3号館
（山形市小白川町1-4-12）

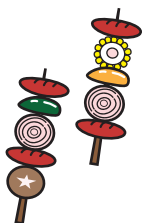
●連絡先／国際ブリーフセラピー協会
第18回学術会議事務局（短期療法を学ぶ会山形）
✉ ifbt.ac.japan@gmail.com

秋のBBQ&和菓子体験♪
～東紅苑で仲間を作ろう～

身体に障がいをお持ちの方へ！バーベキューと和菓子作りを通して仲間を作りませんか？食べて飲んでお菓子を作る交流会です。お気軽にご参加ください。

- 日時 2026年10月24日（土）
11:00～15:00
- 場所 山形県身体障がい者保養所 東紅苑
（東根市温泉町2丁目16-1）
- 対象 60歳以下で身体に障がいをお持ちの県内在住の方及び、付添の方。
- 参加費 3,500円（予定）
- 申込締切 10月2日（金）

●連絡先／（福）山形県身体障害者福祉協会
TEL 023-686-3690
FAX 023-686-3723
✉ y-sinsyokyo@orange.plala.or.jp



とぴあす 連載コーナー

ー市民活動ー

Q&A

Q. 「NPO＝ボランティアの延長」ですか？

A. ボランティアは「個人の関わり方」、NPO は「組織の形」を指す言葉です

ボランティアは「個人がどう関わるか」という参加の形です。NPO 法人だけでなく、行政や企業でもボランティアは活動しています。一方、NPO 法人は「組織の形」です。NPO 法人の中には、ボランティアとして関わる人もいれば、給与をもらって働く人もいます。

NPO 法人は、任意の善意で集まるボランティアとは異なり、法人格を持つ正式な組織です。ボランティアは個人の自発的参加形態であり、参加の自由度が高い一方、NPO 法人は組織として社会的信用を維持し、継続的にサービスを提供する義務があります。また、職員への給与支払いも認められており、専門性を持つスタッフが事業を担うことも一般的です。したがって、NPO 法人は「善意の集まり」ではなく、社会課題の解決を目的とした専門性と継続性を備えた非営利組織として位置づけられます。

●市民活動ひとくちコラム●

日本語学習支援の会は、日本語能力の向上を目指す方々に対し、日本語学習支援の活動を行い、学習者の日本における生活上の障壁を小さくすること及び各々の目標達成の後押しをすることを目的として活動しています。現在は、月に 1 回、日曜日に山形市市民活動支援センターの一角にて、日本語会話の練習会を行っています。語学学習においては、実践機会が少ないという悩みを持つ人が多いと思います。そこで、特に独学での習得が難しいと考えられる会話を重視した活動にしました。

日本語学習支援の会
代表 工藤さやか さん

会では、参加者の学習目的やレベルに合わせ、様々なテーマについて日本語で話をします。現在は参加者も多くないため、一人一人の希望に応じた支援ができています。もし、周りに『もっと日本語を話す練習がしたいけれど、練習相手が見つからない』という悩みを持つ方がいらっしゃいましたら、ぜひご紹介をお願いいたします。不定期開催のため、日時の詳細はお問い合わせください。（英語可）

●連絡先／日本語学習支援の会
✉nihongoshien26@googlegroups.com

センター職員のいちおし！ スタッフが気になることやおすすめしたいことなどをご紹介します

vol.95 知っておきたい NPO のこと 5 【事業評価】編
編集・発行 認定 NPO 法人 日本 NPO センター

「事業評価」と聞くと、少し身構えてしまいませんか？「助成金や行政への報告のために、渋々書類を埋めている」「日々の活動に追われて、じっくり振り返る余裕がない」、そんな義務感や形骸化に悩む NPO 関係者は少なくありません。

本書『知っておきたい NPO のこと 5 事業評価編』は、そんな「評価＝負担」という思い込みを優しく解きほぐしてくれる一冊です。現場の悩みに寄り添う、温かく知的な視点で、評価の本当の目的や、明日か

ら実践できる具体的なステップが丁寧に解説されています。読み終えたとき、目の前の書類作業は、メンバーの背中を押し、寄付者や社会へ自分たちの価値を届けるための「最高の武器」へと変わるに違いありません。評価を組織の味方につけ、次のステップへ自信を持って踏み出すために、いま最もお勧めしたい実務書です。（田中）



発行：山形市市民活動支援センター

〒990-8580 山形市城南町 1-1-1 霞城セントラル 22・23 階

電話：023-647-2260 F A X：023-647-2261 メール：center@yamagata-npo.jp

・開館時間／9 時半～21 時

・休館日／月曜日、祝日（月曜日が祝日のときは火曜日）、年末年始

★印刷と相談の方は 1 団体 2 名、2 時間までの駐車券補助があります。

（霞城セントラルパーキング・山形駅東口交通センター駐車場をご利用ください）



編集 近頃、様々な自然災害が発生し、日頃の備えを見直すことの大切さを感じます。
後記 まだまだ暑い日が続きますが、できることから始めておきたいですね。（後藤）

山形市市民活動支援センターだより とぴあす
担当：後藤・田中